

令和5年度 通学路合同点検 対策一覧表

学校名	番号	危険箇所地名	合同点検	点検メンバー	危険な状況	対策数	路線名	対策内容	実施主体
葉山中	1	大字稲下 (国道347号線、樽石橋付近)	10月31日	村山総合支庁建設部北村山道路計画課(2名)、村山警察署交通課、村山警察署生活安全課、市市民環境、葉山中学校、市教育委員会(2名)	歩道に突然車が出てくる時があるとのことです。自転車で南進するとき、自動車からは見えにくいと思います。	1	国道347号線	<ul style="list-style-type: none"> ・側道から国道に出る車に対する注意喚起の看板を設置できないか検討する。 <p>(遮蔽物がなく見通しが良いためカーブミラーの設置はできない。看板の設置は、道路の利用者が少ないこともあり、県道ではあるが市から県へ道路占用許可申請したうえで、市で行うことになる。)</p>	教育委員会
葉山中	2	大字稲下 (国道347号線と県道樽石基点線の交差点)	10月31日	村山総合支庁建設部北村山道路計画課(2名)、村山警察署交通課、村山警察署生活安全課、市市民環境、葉山中学校、市教育委員会(2名)	登校途中、縁石付近のくぼみに自転車の前輪が取られ、転倒し、肘を骨折した生徒いました。現場を確認すると、交差点付近は歩道が広いのですが、手前はかなり狭くなっています。	1	国道347号線 県道樽石基点線	<ul style="list-style-type: none"> ・転倒の原因となった縁石の上に注意喚起のゴム製ポール設置を検討する。 ・対象の縁石は市の管轄区域に設置されているため市建設課で検討する。 <p>(縁石の設置後に高さを増す処置がされて、歩道の安全確保の観点から縁石の撤去は行わない。)</p>	市建設課
富本小	3	大字湯野沢	10月31日	村山警察署交通課、村山警察署生活安全課、市建設課、富本小学校、市教育委員会(2名)	道路と橋の間に隙間があり、転落の可能性はある。	1	市道	<ul style="list-style-type: none"> ・既設の柵に注意喚起の看板の設置を検討する。 <p>(民地に接する形で側溝が設置されており、柵の追加設置はできない。)</p>	市建設課

富本小	4	大字湯野沢	10月31日	村山警察署交通課、村山警察署生活安全課、市建設課、富本小学校、市教育委員会（2名）	道路のすぐ脇に高い段差があり、ガードレールもない。 （通学路ではないが通学路にほど近い場所にある。）	1	市道	<ul style="list-style-type: none"> ・春の交通安全教室で当該の道路を歩く際に、注意するよう児童に指導する。 （交通安全教室で歩くのは道の反対側。除雪作業の妨げになるためガードレールの設置は行わない。）	学校
楯岡中	5	大字楯岡 （国道13号線下トンネル）	10月31日	村山警察署交通課、村山警察署生活安全課、市建設課、楯岡中学校、市教育委員会（2名）	車のすれ違いも困難なほど道幅が狭く、車もあまり減速しないため、自転車で通過する際に危険がある。	1	市道	<ul style="list-style-type: none"> ・外側線、道路標示（「幅員減少」）が薄くなっているため塗り直しを行う。 ・速度制限の変更を検討する。現在は速度標示がないため60km/h制限扱いとなっている。 ・注意喚起の看板設置を検討する。看板の標示内容によって設置の担当が変わる。（市建設課または教育委員会） （日頃より警察署でパトロールを行っている。）	警察署 市建設課 教育委員会
合計	5					5			